

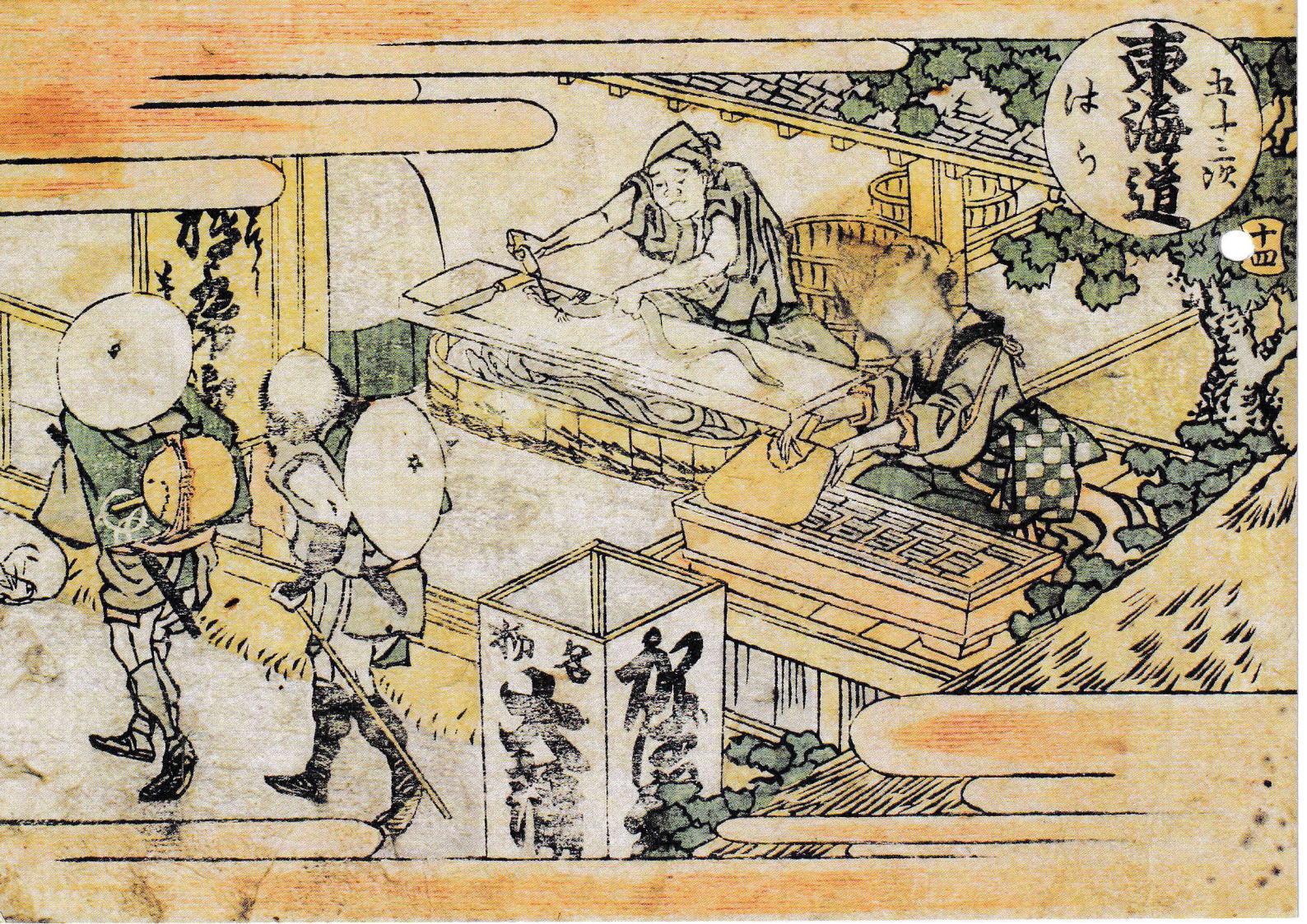
沼津 重光人地志  
原一壹里半

- シリーズ 市民が語る戦争体験5  
15歳で工員養成所へ 技術報国めざす  
鈴木忠雄さんの体験談
- 23年度新収資料の紹介
- 23年度当館収蔵資料の使用

# 沼津市明治史料館通信

二〇二二年四月

通巻109号



# 15歳で工員養成所へ

## 技術報国めざす

### 鈴木忠雄さんの体験談

鈴木忠雄氏略歴

昭和 四年八月 沼津市東本郷町に生まれる

一一年四月 沼津市第四尋常小学校入学

一七年四月 沼津市第四国民学校高等科進学

一九年四月 沼津海軍工員養成所二期生

に合格・入所

二〇年三月 工員養成所修了

四月 海軍工廠の疎開

八月 終戦

平成二三年

逝去



鈴木 忠雄氏  
(昭和21年頃)

## 沼津海軍工廠

### 工員養成所で訓練

昭和一六年三月「国民学校令」(勅令)によって小学校は国民学校となった。旧制中学校(現在の高校)に進まなかった生徒は、高等科(二年制)へ行かなくてはならなかった。一七年四月、沼津市第四国民学校高等科一年に進学した。

高等科卒業後の進路について、満蒙開拓青少年義勇軍となるか、沼津海軍工廠工員養成所へ行くかの選択に迫られ、家庭の事情(農業・米穀ほか小売)もあり、校長先生、担任の先生などと相談の結果、海軍工廠工員養成所へ行くことになった。一五歳で親元を離れての養成所生活へのあこがれもあった。

宿舎は第一寮六号室、ベッドは軍艦の寢室と同じで、右舷・左舷の二段式、一

二人部屋であった。

総員起こしで、上半身裸になって玄関前に整列、教練場二〇〇メートルコースを二周の駆け足、寮の掃除をすませ朝食となった。食事は通常五分間、警戒警報が出ていると「一分めし」であった。

「食事止め」の合図で箸を置く。少しでも遅れると罰直させられた。何か叱られる事をしたのに名乗り出ないと連帯責任で、パンツになって水を流している浴場で、腕立て伏せをやらされた。力尽きてつぶれるとパンツはびしょ濡れになった。現役の海軍少佐が常に持ち歩いている精神改心棒(五センチ角、一二〇センチ位の檜の棒、紫の房が付いている)で腰を叩かれることもあった。

食事はひどいもので、主食は米と大豆粕が半々。トウモロコシや腐りかけたさつま芋、さつま芋のツル、ひじきなどが主な食材だった。

服務綱領(忠順誠実・恪勤精励・技術報国・規律厳守・質実剛健)に則り、厳しい教練が続いた。

二期期になると基礎実習に入った。ハンマー打ち、タガネ仕上げ、ヤスリかけ、板金加工など。指導員の吹く笛に合わせ一つの工程を何回も繰り返した。直径三センチ、長さ五センチ位の鉄材をハンマーで力一ぱい叩いて削る。手を叩いてしまつて腫れ上がり、黒ズミになつても、痛さをこらえて叩き続けないと罰直がある。

三学期、発電機部品加工の第二四機械工場に配属された。初めは旋盤、研磨機などの前に立って、先輩の作業をじっと見ているだけなので辛く、立ったまま居眠りをして怒られた。

昭和二〇年四月から、工場疎開が始まった。主に田方郡の山麓で、すでに地元近在の労働者によって工場が丸ごと入る横穴式工場がいくつも完成していて、軽作

## 用語解説

### 国民学校

昭和一六年(一九四二)、国民学校令が制定され、それまでの尋常小学校・尋常高等小学校が国民学校となり、初等科六年と高等科二年となった。この国民学校に通っていた世代の少年・少女を「少国民」と呼んでいた。

第二次世界大戦終戦後に制定・公布・施行された学校教育法に基づき、初等科が新制の小学校、高等科が新制の中学校となるまで存在した。

### 沼津海軍工廠

昭和一八年(一九四三)六月七日開庁。電波探信儀(レーダー)と航空用無線を生産する工場として操業を開始した。

昭和一六年六月から建設計画が進め

業（手仕事だけの工程）の工場はすでに稼動していた。

最後に移転することになった第二四機械工場は、疎開して再開されるまでの間も発動機の製作は続けなければいけないので、丸ごと引き受ける工場として茨城県の日立製作所に移転することに決まった。機械の搬出に必要な者だけ残り、他の工員は、疎開先である畑毛温泉場（函南町）の横穴掘りに動員された。私は自宅から畑毛へ出勤するようになった。

## 沼津大空襲で

### 自宅が丸焼け

除隊していた長兄、与作は三三歳で防衛部隊に召集された。当時一六歳の少年だった私が、我が家にとつてただ一人の男手だった。長兄は入隊する時、「もし空襲になったら、先ず子供ら四人を家の前の内膳堀の橋の下に連れて行ってくれ。防空壕に日常生活に必要なものを入れたら蓋をし、カマスを濡らしてかぶせ、その上に土を全部かけてくれ」と何回も言っていた。

七月一七日未明、すさまじい爆音がした。同時に香貫山が昼間の様に明るくなり（照明弾によって）松の木が数えられるほどだった。家は香貫山から二〇〇メートル位しか離れていない。兄の言われた通りにした。

六月、三男・種作が「無言の凱旋」を

していた。大空襲があった日は四九日の前だったので、また祭壇が床の間にあり、遺品がおいてあった。おふくろは、それらを箱に入れていたが、辺りは火の海なので途中であきらめ橋の下に避難した。敵機が見えるほどの低空で何機も続いて道路沿いの民家に焼夷弾を落として行った。橋から五メートル位の所に焼夷弾が落ち、深さ三メートル、直径五メートル位のすり鉢型をした穴が開いた。我が家は完全に焼け落ち、まだ熱くて近寄れなかった。

八月一日から一か月間、日立製作所に航空無線用発電機の部品加工の指導員として出向を命ぜられた。初めての汽車の長旅であった。

日立駅に降りたとたん、足がすくんでしまった。町の人が艦砲射撃があつて、三五センチ砲の着弾の跡だと教えてくれた。途中でも直径一〇メートル、深さ五メートル位のすり鉢型の艦砲射撃の着弾穴、少し小さいのもあちこちにあった。

## 玉音放送

### そして即時解雇

予定通り仕事が進み半月が過ぎた。午前中の作業が終わろうとした時、「至急全員中庭に集合」と放送があった。正午より天皇陛下のお言葉が放送されるので姿勢を正してお聞きするように言われた。放送は雑音ひどく全く聞き取れなかつ

た。上司が壇上に立ち、「戦闘も激しさを増し国民が一致団結して頑張るよう、というありがたいお言葉があつたので、これに答えて万歳を三唱する。」と万歳を三唱して解散となった。

ところが午後になって、先ほどの陛下のお言葉は敗戦宣言だったと知らされ、とたんに工場内はざわめき出して、機械の電源を切り作業は中止してしまつた。

出向者は沼津へ引き揚げるよう指示がでた。列車はのろのろ運転で、その上途中で停まってしまい半日も列車内に閉じ込められた。

やっと帰ってきて、畑毛の疎開現場に行ってみると工員は一人もいない。国から即時解雇の命令が出たという。全員引き揚げ、事務所も閉鎖されていた。

他の出向者と一緒に海軍工廠へ行った。上司はいない。ひとり残っていた事務員は、国の命令で書類はすべて焼却処分されたため、出向の関係書類も養成所の書類も一切なく連絡することも出来ないとのことだった。

一五日という月の半ばの強制解雇であったため、給料精算は出来ず、工場長から「何でも欲しいものを給料の代わりに持って行ってくれ」と説明があつたそう。中には怒って大ハンマーで機械を砕いて引き揚げた人もいたようだ。

私の養成所での一年五か月の給料は、ペンチと三〇センチのスケールと電気ゴテの三点だけであつた。

られ、まず海軍は東京人絹沼津工場を買収し、次いで翌年五月には、東京人絹に隣接する金岡村の用地買収を強行した。この買収により同村沢田地区は部落全体が移転することになった（現在の沼津市沢田町）。

開業当初の敷地面積は沼津市三九ヘクタール、金岡村九六ヘクタール、片浜村二七ヘクタール、計一六二ヘクタールで、終戦時は計一八〇ヘクタールであった。

工廠の周囲には洪水対策として排水溝が掘られ、労働力として沼津・静岡両刑務所の囚人が使役されたため「囚人堀」と呼ばれた。

「沼津海軍工廠があつたために沼津は空襲を受けた」としている文献も散見されるが、同二〇年七月一七日の「沼津大空襲」においては、工廠内の建物はほとんど焼けておらず、戦後、工廠内の建物は各学校の仮校舎として活用された。



沼津海軍工廠（株式会社フジクラ提供）  
旧東京人絹沼津工場部分。平成17年頃まで残っていた。

## 平成23年度新収資料の紹介 昨年度、明治史料館に仲間入りした資料です。

寄贈	間宮義高様 安原彰夫様 小田川清様 井口泰平様 持田みつ様	本町間宮家文書(寄託から寄贈へ切替) 安原金次関係資料 小田川全之関係資料 井口省吾関係資料 旧幕臣持田家資料	購入	LIFE OF LORD CLIVE』『羅斯珂氏小化学』・浜田晴高『摘要算術教科書』・真野肇『実業算術新教科書』、『訂正代数学教科書』・田口卯吉著『条約改正論』・新井秀徳『地誌提要』・宮川保全、愛知信元『小学筆算教授書』、『小学筆算教授書』(第四巻、第五巻、第六巻、答)・桃の屋鶴彦(飯野忠一)『改良滑稽落語』・田辺朔郎『北海道鉄道由来』・絵葉書「加藤定吉」「井口省吾」・斎藤修一郎『大学々生溯源』
	購入	<p>絵葉書(8件)</p> <p>「戸田御浜帝国大学貴賓館」「戸田太鼓石ヨリ村落ヲ望ム」「三津二俣海岸の富士」「伊豆三津海岸 安田屋旅館」「戸田港外七島ノ富士」「最新版 三津之富士 勝景絵はがき」「伊豆戸田港北山ヨリ人家ヲ望ム」「伊豆長岡名所 三津港ヨリ淡島ノ望遠」</p> <p>沼津兵学校関係(関係者等の著書・書簡など21件)</p> <p>「徳川家兵学校掟書」・「熊谷県学務関係行政文書」 「静岡連隊区管内将校同相当官名簿」・「東京開市三百年祭記事」・田辺太一校閲『弓術新書』・桂川甫策『化学初歩』・松井惟利『真卿東京節用いろは辞典上』・大平俊章『SIR JOHN MALCOLM'S</p>		<p>その他沼津の歴史関係(13件)</p> <p>種玉庵連山『旅寝集』・鬼島広蔭『千百人一首 上・下』・和田伝太郎『児童修身門』・杉山正治『相模野基線測量』・中西準太郎『士都華氏新訳小物理学』・静岡県駿東郡教育会『計量便覧』・観光ガイド「夏は伊豆へ」・ポスター「健康の海!!沼津へ」・「昭和十一年 沼津市勢一斑」・千社札「沼津緑新地 濃洲楼」・「東海自動車バス時刻表(昭和11年11月)」・日本メソヂスト甲府教会『賛美歌の力』・講演会『講演会叢説』</p>

## 平成23年度当館収蔵資料の利用 明治史料館の資料がいろいろなところで活躍しました。

### ☆展示使用

5月	沼津御用邸記念公園「端午の節句飾り」「祝着」(石井種生氏寄贈資料)
6~9月	IZU PHOTO MUSEUM「富士幻影展」「大平より富士を望む(慰問写真)」
10~12月	飯能市郷土館 特別展「飯能炎上-明治維新・激動の6日間-」ミニエー銃弾パトロン・雷管入・胴丸
10~11月	富士市立博物館 緊急テーマ展「今、地震や津波を考える~富士の災害史」「地震之記」「安政見聞録」「諸国大地震大津波実説早引方角書世直一覽」
10~11月	静岡市文化財資料館 企画展「幕末に揺れにゆれた大地震」「地震之記」より「小林村変地之図」「田地変ジテ湖水トナル」
11月	岡一色自治会 文化展 牧堰・門池用水関係資料(模型・写真等)
3月	沼津市農林農地課 第28回献茶式 肖像画「江原素六」

### ☆刊行物掲載

5月	ダイヤモンド社『千年震災』「地震之記」より「小林村変地之図」「田地変ジテ湖水トナル」
5月	河鍋暁斎記念美術館『暁斎』「駿藩各所分配姓名録」「香亭雅談」
10月	沼津市大手町町内会 町制120周年記念事業『大手町120年の歩み』古写真「沼津兵学校址碑除幕式」(大野寛良氏寄託資料)
3月	㈱ちばぎん総合研究所 月刊「マネジメントスクエア」4月号 錦絵「旗本・江川永脩」

### ☆テレビ等映像・その他

6月	SBS「イブニングeye」古写真「沼津駅前 昭和38年」「アーケード街 昭和38年」
7月	日本テレビ「不可思議探偵団」測量関係古写真(大川通久関係資料)
9月	SBS「イブニングeye」古写真3点
9月	TBSテレビ「飛び出せ!科学くん」「地震之記」より「小林村変地之図」「田地変ジテ湖水トナル」
10月	㈱広域高速ネット二九六『296NEWS』内「なるほど!地域辞典」写真「大築尚志」(大築尚志関係文書)
10月	南駿農業協同組合「F.V.F」古写真7点・絵葉書「沼津音頭・茶摘」
10月	㈱映像舎「西三河の肖像 大浜てらまちをゆく」「大浜陣屋絵図」(沼津藩士杉浦家資料)

### 人事異動

3月31日付で館長石川治夫、事務補助員若松裕美が退職しました。  
4月1日付で主事川口勝久が文化財センターに異動、4月2日付で館長堤茂、事務補助員中井伊久子が着任しました。  
今後ともよろしくお願いします。

### 沼津市明治史料館通信

#### 第109号

平成24年4月25日

編集・発行 沼津市明治史料館  
〒410-0051 沼津市西熊堂372-1  
TEL055-923-3335  
FAX055-925-3018

印刷  
みどり美術印刷株式会社

### 表紙の解説

北斎の五十三次シリーズ(上段)沼津・(下段)原 当館所蔵  
浮世絵の東海道五十三次といえば広重がよく知られているが、葛飾北斎も東海道五十三次シリーズを描いており、現在7つのシリーズが確認されている。  
表紙の上段は享和4年(1804)正月刊行と推測されるシリーズの内の「沼津」で、「画狂人北斎」とあり、描かれているのは松葉かきをした子供であろうか。下段は文化年間初中期頃の刊行と推測されるシリーズの内の「原」で、名物としてうなぎのかば焼き屋が描かれている。後にゴッホにまで影響を与えたといわれる北斎のダイナミックな画風はまだ見ることができないが、「富嶽三十六景」でも見られる人物のいきいきとした描写を見ることができる。  
<参考文献>『葛飾北斎 東海道五十三次』岩崎美術社 1994年